2021年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月５日

上場会社名　株式会社ソリトンシステムズ　　上場取引所　東
コード番号　3040　ＵＲＬ　https://www.soliton.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）鎌田　信夫
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　経営管理部長　（氏名）三須　貴夫　（TEL）　03-5360-3801
四半期報告書提出予定日　2021年11月５日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2021年12月期第３四半期の連結業績（2021年１月１日～2021年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第３四半期	12,717	7.4	1,666	28.9	1,729	30.1	1,215	11.9
2020年12月期第３四半期	11,839	△0.0	1,293	80.9	1,328	109.6	1,085	188.3

（注）包括利益　2021年12月期第３四半期　1,175百万円（14.6%）　2020年12月期第３四半期　1,026百万円（110.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第３四半期	65.57	－
2020年12月期第３四半期	57.25	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第３四半期	15,830	7,833	49.4	422.35
2020年12月期	16,014	7,032	43.8	377.64

（参考）自己資本　2021年12月期第３四半期　7,817百万円　2020年12月期　7,016百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	－	5.00	－	7.00	12.00
2021年12月期	－	7.00	－		
2021年12月期（予想）				7.00	14.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2021年12月期の連結業績予想（2021年１月１日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	4.5	2,200	17.9	2,150	10.5	1,500	1.1	80.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無

② ①以外の会計方針の変更 ：無

③ 会計上の見積りの変更 ：無

④ 修正再表示 ：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期３Ｑ	19,738,888株	2020年12月期	19,738,888株
② 期末自己株式数	2021年12月期３Ｑ	1,229,687株	2020年12月期	1,159,663株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期３Ｑ	18,531,520株	2020年12月期３Ｑ	18,959,255株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間において、先進国はワクチン接種の進展や接種証明を活用し、Withコロナにおける社会経済活動の活性化を模索しています。一方、新興国はワクチン接種の遅れ等で新型コロナウィルス感染症の拡大が続き、その影響で、世界レベルで企業のサプライチェーンが不安定化、半導体の供給制約もあり、企業の生産活動に下振れのリスクが顕在化、世界経済は先行き不透明な状況にあります。

IT投資について、企業のみならず国も競争力強化のためデジタル技術の活用を進め、その領域も広がりを見せています。2021年９月には新たにデジタル庁が発足し、官民の新時代のデジタルインフラ構築に向け始動いたしました。デジタル化の進展に伴い、ID/認証機能の整備、セキュアなテレワーク環境の整備、サイバーセキュリティ対策等、当社が得意とするセキュリティ分野の需要は、ムード先行ですが、堅調に拡大しています。

このような環境下、当社グループの業績について、売上高は12,717百万円（前年同期比7.4％増）となり、営業利益は1,666百万円（前年同期比28.9％増）、経常利益は1,729百万円（前年同期比30.1％増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,215百万円（前年同期比11.9％増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① ITセキュリティ事業

売上高は12,078百万円（前年同期比8.6％増）、セグメント利益は2,405百万円（前年同期比19.2％増）となりました。

自社製品/サービスの販売に注力した結果、セグメント売上高と利益は増収増益となりました。一部の金融機関や病院で導入されてきたネットワーク分離によるセキュリティ対策が、自治体や教育委員会でも増加してきております。ネットワーク分離とは、インターネットに接続しメール送受信やWeb閲覧等で使用される情報系ネットワークと顧客情報や機密情報が保存されている基幹系ネットワークを分離し、セキュリティの強化を図るものです。当社は、ネットワーク分離のパイオニア的存在で、セキュアな環境を維持しつつ高い利便性を発揮する「FileZen S」や「Soliton SecureBrowser」の提案を強く推進しています。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は530百万円（前年同期比15.8％減）、セグメント損失は46百万円（前年同期はセグメント利益9百万円）となりました。

「Smart-telecaster Zao-S」について、新型コロナウィルス感染症の再拡大で、東京オリンピック・パラリンピックが無観客で行われたことや野外イベントの中止等により国内の販売が振るわず、売上高は減収となりました。これは、安全のための監視という利用分野ですが、もう一つの利用分野、遠隔操作・遠隔操縦のニーズが顕在化してきております。コロナのため海外出張もままならず、遠隔地にある工場の製造プロセスと製品のチェックなど、ニーズが顕在化しています。この分野のニーズに応えるため、新製品/サービスの開発も進めており、セグメント損失を計上いたしました。飛躍した話題としては、海外のグローバル企業の要請に基づき高画質、低遅延エンジンをクラウドで稼働させる試みもあります。これは新時代をもたらすかもしれません。来期第１四半期より販売が開始されるとのことです。

③ Eco 新規事業開発

売上高は109百万円（前年同期比27.4％増）、セグメント損失は171百万円（前年同期はセグメント損失186百万円）となりました。

人感センサーの販売が底堅く走っています。セグメント売上は増収となりました。独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）に採択された超低消費電力のアナログエッジAIの開発はいよいよ全貌が見えてきました。これから数ある検証が楽しみです。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて183百万円減少し、15,830百万円となりました。

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて112百万円減少し、12,331百万円となりました。これは主に現金及び預金が913百万円、仕掛品が47百万円、前払費用が34百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が555百万円、電子記録債権が430百万円、商品及び製品が132百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて71百万円減少し、3,498百万円となりました。これは主に投資その他の資産その他が187百万円、ソフトウエアが91百万円、投資有価証券が34百万円増加した一方、繰延税金資産が208

百万円、有形固定資産が87百万円、ソフトウエア仮勘定が84百万円減少したことによるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて870百万円減少し、7,851百万円となりました。これは主に前受収益が689百万円増加した一方、賞与引当金が453百万円、未払法人税等が442百万円、未払金が221百万円、支払手形及び買掛金が189百万円、流動負債その他が161百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて114百万円減少し、145百万円となりました。これは主に長期未払金が77百万円、長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産の部については、前連結会計年度末に比べて801百万円増加し、7,833百万円となりました。これは主に、利益剰余金が955百万円増加した一方、自己株式を114百万円取得したこと等によるものであります。

なお自己資本比率は49.4％（前連結会計年度末比5.6ポイント増加）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2021年２月８日に公表いたしました数値より変更はありません。なお、新型コロナウイルスが業績に及ぼす影響について、今後も注視してまいります。連結業績予想の修正が生じた場合には速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2021年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,305	8,218
受取手形及び売掛金	2,516	1,960
電子記録債権	856	425
リース投資資産	79	55
商品及び製品	539	406
仕掛品	58	105
原材料及び貯蔵品	111	92
前払費用	965	999
その他	78	96
貸倒引当金	△65	△29
流動資産合計	12,444	12,331
固定資産		
有形固定資産	1,260	1,173
無形固定資産		
ソフトウエア	353	445
ソフトウエア仮勘定	278	193
その他	14	14
無形固定資産合計	646	653
投資その他の資産		
投資有価証券	121	155
差入保証金	514	511
繰延税金資産	876	667
その他	155	342
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,662	1,671
固定資産合計	3,570	3,498
資産合計	16,014	15,830

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2021年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871	681
短期借入金	189	134
リース債務	29	24
未払金	717	496
未払法人税等	540	97
前受収益	5,011	5,701
賞与引当金	709	256
役員賞与引当金	10	－
関係会社整理損失引当金	20	－
その他	619	458
流動負債合計	8,722	7,851
固定負債		
長期借入金	25	－
リース債務	49	31
長期未払金	150	73
その他	34	40
固定負債合計	259	145
負債合計	8,982	7,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326	1,326
資本剰余金	1,401	1,401
利益剰余金	5,418	6,374
自己株式	△1,230	△1,345
株主資本合計	6,916	7,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	12
為替換算調整勘定	88	47
その他の包括利益累計額合計	99	60
非支配株主持分	15	16
純資産合計	7,032	7,833
負債純資産合計	16,014	15,830

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2020年１月１日 至　2020年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2021年１月１日 至　2021年９月30日）
売上高	11,839	12,717
売上原価	6,343	7,050
売上総利益	5,496	5,667
販売費及び一般管理費	4,202	4,000
営業利益	1,293	1,666
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	0
為替差益	14	55
受取補償金	13	－
助成金収入	2	11
その他	1	2
営業外収益合計	44	68
営業外費用		
支払利息	1	0
貸倒引当金繰入額	－	0
固定資産除却損	0	0
支払手数料	4	5
その他	2	0
営業外費用合計	8	6
経常利益	1,328	1,729
特別利益		
固定資産売却益	－	8
退職給付制度終了益	2	－
債務免除益	－	72
特別利益合計	2	80
特別損失		
投資有価証券評価損	1	－
ソフトウエア除却損	189	－
関係会社整理損	－	3
関係会社整理損失引当金繰入額	88	－
特別損失合計	280	3
税金等調整前四半期純利益	1,051	1,806
法人税、住民税及び事業税	373	373
法人税等調整額	△406	219
法人税等合計	△32	592
四半期純利益	1,084	1,214
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,085	1,215

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2020年１月１日 至　2020年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2021年１月１日 至　2021年９月30日）
四半期純利益	1,084	1,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	1
為替換算調整勘定	△66	△39
退職給付に係る調整額	14	－
その他の包括利益合計	△58	△38
四半期包括利益	1,026	1,175
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,028	1,175
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自2020年１月１日　至2020年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	ＩＴセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
外部顧客への売上高	11,123	629	86	11,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	3	14	28
計	11,134	633	100	11,868
セグメント利益又は損失（△）	2,018	9	△186	1,841

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,841
全社費用（注）	△548
四半期連結損益計算書の営業利益	1,293

（注）全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自2021年１月１日　至2021年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	ＩＴセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
外部顧客への売上高	12,078	530	109	12,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	21	14	49
計	12,091	551	124	12,767
セグメント利益又は損失（△）	2,405	△46	△171	2,187

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,187
全社費用（注）	△521
四半期連結損益計算書の営業利益	1,666

（注）全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。